

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	長野県飯山市役所					
代表者名	氏名	足立 正則	役職名	飯山市長		
主たる事務所の所在地	長野県飯山市大字飯山1110番地1					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	市町村機関					
制度に該当する要件	レ	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
		条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
		条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
		上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1694	1680	1717	1578	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3507	3490	3551	3296	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	109		110	110	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	223		237	240	

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 30 年度
--------	----------

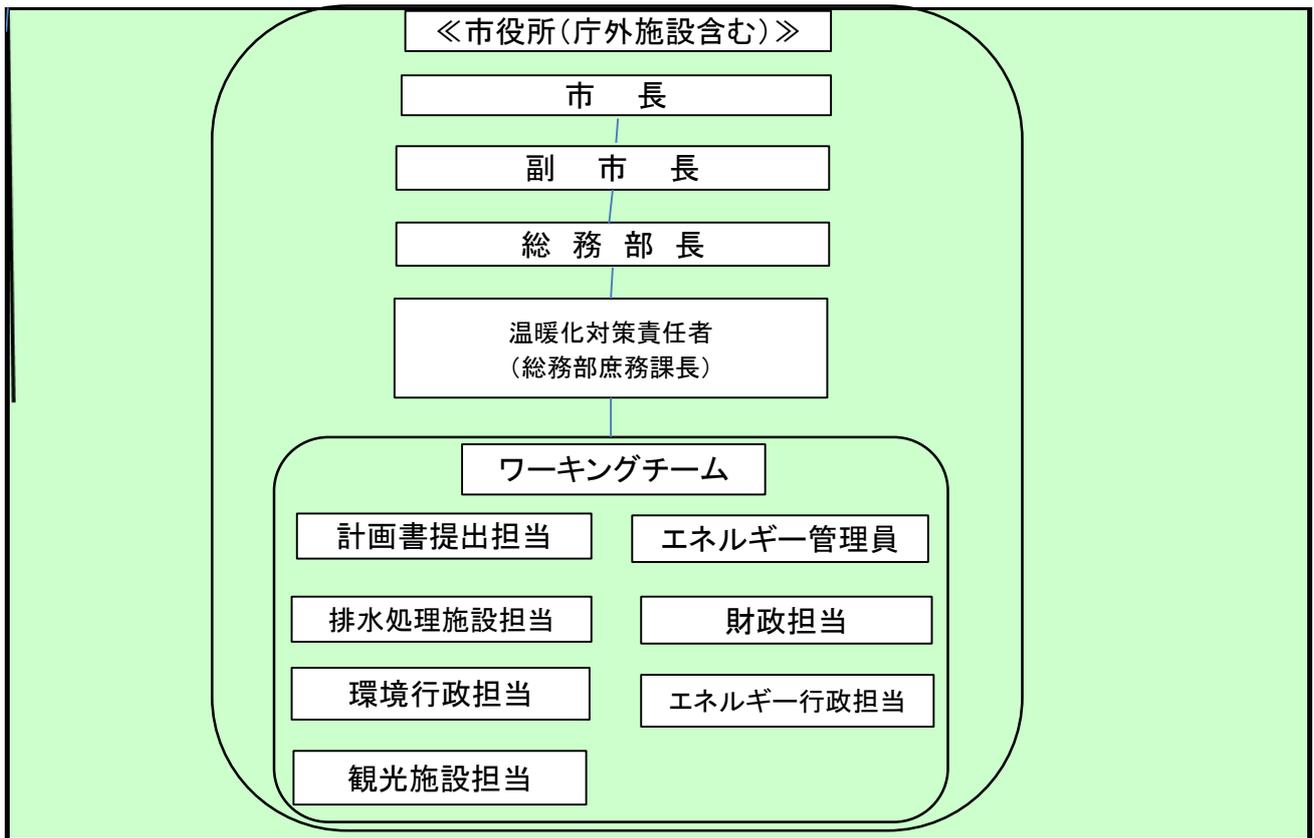
3 計画書（報告書）の公表方法等

レ	ホームページ	http://www.city.iiyama.nagano.jp/
	印刷物の閲覧	
	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

施設・設備の更新や節電に積極的に取り組み、温室効果ガスの排出抑制に努める。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ中長期削減計画策定ワーキングチーム会議 数回/年

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,507	t-CO ₂	建物延床面積	97.25	単位	千m ²	
28年度	調整後排出量	3,483	t-CO ₂	基準原単位	36.06	t-CO ₂ /	千m ²	
目標年度	目標排出量	3,490	t-CO ₂	目標原単位	0.04	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	0.48	%	目標削減率	99.88	%		
目標設定に関する説明	下水道処理施設の改修等により、排出量は微減を目標とした。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,551	t-CO ₂	建物延床面積	97.25	単位	千m ²	
	調整後排出量	3,520	t-CO ₂	原単位	36.51	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(1.26)	%	削減率	(1.25)	%		
排出量等の増減理由	29年5月に土砂崩落災害が発生し、現地対策本部を設置して昼夜を通して対応に おわれていたための使用量の増加。 飯山駅観光交流センター社員増員及び利用客数増加に伴う排出量の増加。							
第二年度	排出量	3,296	t-CO ₂	建物延床面積	97.25	単位	千m ²	
	調整後排出量	3,602	t-CO ₂	原単位	33.89	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	6.01	%	削減率	6.01	%		
排出量等の増減理由	30年度は、大きな災害がなく通常業務となったため、電力消費量が減少した。 下水道処理施設の高効率機器への更新と、統廃合による効果のため、電力消費量が減少した。							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	建物延床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂	建物延床面積		単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂	建物延床面積		単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂	建物延床面積		単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	建物延床面積		単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	223	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	220	t-CO ₂	削減率	1.34	%
31年度						
目標設定に関する説明	低公害車の導入等、一層の節減を図る					
第一年度	排出量	237	t-CO ₂	削減率	-6.28	%
29年度						
排出量等の増減理由	29年5月に土砂崩落災害が発生し、現地対策本部を設置して、市役所本部との往復で公用車を利用したための増加					
第二年度	排出量	240	t-CO ₂	削減率	-7.63	%
30年度						
排出量等の増減理由	主に降雪量の増加に伴う、除雪作業車の軽油使用量の増加					
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101庁舎冷暖房の適切な温度設定	29～	2	29～30	5
2	エネ起	150204照明の不要時間帯の消灯	29～	2	29～30	5
3	エネ起	150301事務室用PCの節電設定	29～	2	29～30	5
4	エネ起	170303太陽光発電施設の管理	29～	20	29～30	20
5	エネ起	150201庁舎蛍光灯のLED化	29～	20	29～30	25
6	エネ起	その他 下水施設統合による汚泥処理の効率化	29～	80		
7	エネ起	その他 下水道処理施設の流量・風量調整を伴う機器についてインバータによる回転数制御を実施	29～	10		
8	エネ起	その他 下水道処理施設の主要電動機器を高効率機器へ更新	29～	40		
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	千kw	25	0	25	25	

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	24		31	-306	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	157	3,507	157	3,551	157	3,296		
合計	157	3,507	157	3,551	157	3,296		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	7	9	10	
合計	7	9	10	0
自動車総数	109	110	110	
次世代車導入割合	6.4	8.2	9.1	

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	環境に配慮した自動車の購入
第二年度実績	飯山市主催の国道沿いのゴミ拾い活動を年1回実施
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	太陽光発電装置の設置、集落排水施設の統廃合。庁舎事務室一部の照明をLED化	37
その他		